

# ヤマブドウ

*Vitis coignetiae*

ブドウ科



ヤマブドウ。右は秋の結実期

## 名前の由来

山に生えるブドウの意。「ブドウ（葡萄）」は漢名の「葡萄」からで、元はウズベキスタン地方の言葉「ブダウァ（budawa）」が中国に伝わりブタオ（蒲桃、蒲萄）と呼ばれたことから、と言われる。漢字名：山葡萄

## 形態的特徴

つる性木本、他木にからみつく。葉は五角形状円心形で長さ10～25cm、低い鋸歯縁、質やや薄い、脈は基部で3分し下面に凸出、互生。雄の木と両生の木がある。花は円錐花序に淡緑白色で径7mmの花をつける、6～7月に開花する。果実は球形で径8～10mm、9～10月に黒紫色に熟す。甘みがあり食べられる。

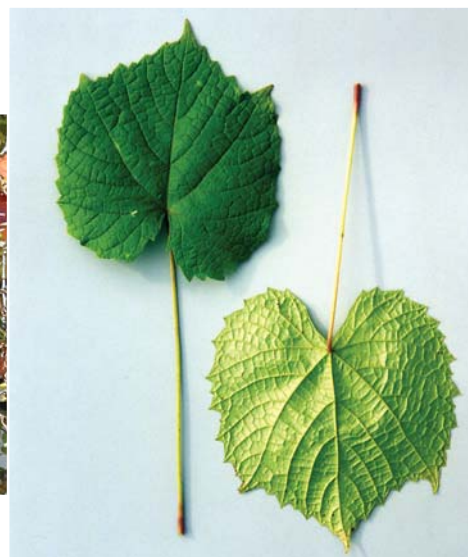
類似種との見分け方：エビヅルがよく似ているが、北海道西南部以南に生育、十勝には自生していない。（エビヅルの葉は小型でもっと深く裂け、葉裏の毛が密）



ヤマブドウの雄花  
(下は拡大)

ヤマブドウの雌花  
(下は拡大)

ヤマブドウの実



ヤマブドウの葉。五角形の特徴的な形



ヤマブドウの樹形

ヤマブドウの樹皮。  
表皮が縦にはがれる

ヤマブドウの冬芽。  
扁平な卵形、5～9mm

ヤマブドウの葉

## 生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期			■									
結実期						■						

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)  
草花

(外来種)  
草花

哺乳類

(水辺)  
鳥類

(草原・樹林)  
鳥類  
ワシ・タカ



## 生育環境・分布

平地～山地に生える。日当たりのいい場所。巻きひげが他木にからみつく。

**分布：**国外分布は、朝鮮（鬱陵島）、南千島、サハリン、アムール、ウスリー。国内分布は、北海道、本州、四国。北海道内分布は、全道に分布。平地～山地に生える。十勝地方生育状況は、平地～山地。

## 繁殖生態・寿命

6～7月に開花する。果実は球形で径8～10mm、9～10月に黒紫色に熟す果柄は肥厚して甘みがあり食べられる。寿命は不明。

## 他生物との関わり

鳥や動物に実を食べられることで種子分散をおこなっているものと考えられる。

## 植栽関係

土壌：砂質壤土～埴質壤土、適潤性、通気性は中程度の場所、pHは弱酸性、耐酸性、堅密度は堅い場所でも耐える。陽性木。直径1cm、樹高12m、根系の最大深度40cm、根の広がり半径0.7m。根の支持力は弱い。移植は容易。

## 興味深い話

- 果実は食用、果実酒、ワインの原料などに用いられる。クマや猿も好んで食べる。
- オスの木と、両性の木がある。
- 茎から枝は対生し、その1節めは葉のみ、2、3節めは巻きひげと葉が対生、4節めは葉のみ、5、6節めはまた葉と巻きひげが対生・・・という繰り返しになっている。
- 十勝地方のアイヌ語でヤマブドウの果実は「ハッ」、ツルは「ハッペンカル」、皮は「シトゥカプ」という。ツルの皮は、夏の履き物や袋をつくった。ツルそのものは、屋根の基部を結ぶ綱、漁具等に利用されたという。
- さらにアイヌの人たちは、苦い実を食べた後の口直しや、エゾテンナンショウの毒の解毒剤としてヤマブドウのすっぱい実を食べたという。

## 配慮事項

からみ付く対象木を必要とする。樹高12m、根系の最大深度40cm、根の広がり半径0.7m。根の支持力は弱い。移植は容易。



ヤマブドウは日当たりのいい場所で、巻き付くものがあるところに生育する



ヤマブドウの葉。円内は秋の紅葉

■アイヌ民族の言い伝えに「昔なわばり争いの結果ヤマブドウがエゾテンナンショウに勝ち、ヤマブドウが木に登り、エゾテンナンショウは地にもぐった。エゾテンナンショウの球茎にはこのとき切られた傷跡がある」というものがある。

〔つる植物について〕植物で他のものに依存して高く伸びるものの形は、次のように分けられる。

1. 茎そのもので林木に巻き付いて登るもの ツルウメモドキ、サルナシ、マタタビ、チョウセンゴミシなど
2. 吸収根（付着根）が林木に吸い付いて登るもの ツルアジサイ、イワガラミ、ツタなど
3. 巻きひげを林木に巻き付けて登るもの ヤマブドウ、ノブドウなど

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

（在来種）  
草花

（外来種）  
草花

哺乳類

（水辺）  
鳥類

（草原・樹林）  
鳥類  
ワシ・タカ

### 参考文献

- 「北海道 樹木図鑑」佐藤孝夫 亜理西社 1990
- 「北海道の樹」辻井達一 他 北海道大学図書刊行会 1992
- 「樹木大図鑑」高橋秀男監修 北隆館 1991
- 「図説花と樹の大事典」木村陽二郎 監修 植物文化研究会・雅麗 編集 柏書房 1996
- 「新装版 樹木根系図説」荻住昇 誠文堂新光社 1987
- 「北海道 庭と庭木のすべて」原秀雄・須田輝 北海道新聞社 1978

「森林で遊ぼうシリーズ1 おもしろい木の話」北海道立林業試験場 監修 北海道林業普及協会

「アイヌ植物誌」福岡イト子 草風館 1995

「日本の野生植物 木本Ⅱ」佐竹義輔・原寛・亙理俊治・富成忠夫 編 平凡社 1989

「アイヌ語で自然かんさつ図鑑」帯広百年記念館（編）、内田祐一・池田亨嘉、帯広百年記念館友の会 2004